

第三者評価シート

学校経営方針の今年度の重点目標から評価項目を設定し、今年度の取組についての評価を実施しました。学校経営方針も同封いたしましたので、別添の保護者並びに教職員による評価集計結果をご覧ください、率直なご意見、ご感想等を含めた評価をお願いいたします。

1 教職員評価、保護者評価の全体傾向に関して

<記述>

教職員の評価は、保護者評価と比べ厳しいものとなっていますが、自由意見等の内容をみると、教育内容や指導方法の改善、特別支援教育の専門性の向上等の意見が多く挙げられており、教職員の意欲やより高いものを求める姿勢が感じられます。また、そのための具体的方策、例えば、児童生徒の実態把握、研修や授業研の充実等あげられていますので、今回の評価を基に改善が図られることを期待しています。一方で、人員不足のような学校独自で改善できない課題もありますが、業務の偏り、引継ぎ時間の確保など工夫をしながら取り組んでいただければと思います。

保護者からは、担当教員に対する信頼や感謝を表す記述が多く、教員の真摯な姿勢や努力が感じられます。引きつづき、保護者から信頼される学校づくりを目指してほしいと思います。

2 各視点・個々の設問に関して

<記述>

児童生徒の実態把握、事例研や授業研など日常業務に流されることなく計画的に積み上げていくことが重要だと思います。また、教員間の連携・協働の必要性についても多くの意見がだされ、とりわけ各部や各学年では連携できていても学校全体、「チーム」としては不十分ではないかといった指摘もあります。今後、学校全体として連携・協働して学校運営や教育実践が取りくんでいけるよう、その具体化が求められていると思います。

一方で、年度途中の退職者や不祥事については多くの教職員が重く受け止めています。それらの問題の背景にある要因を分析し、課題解決に向け努力していくことを期待しています。

3 学校評価全体及び各設問、集計方法の妥当性に関して、その他

<記述>

学校評価アンケートでは多くの意見が寄せられていることから、教職員のよりよい教育を求める意識の高さが感じられます。今後は、この意見をどう教職員にフィードバックしていくのか、ただ評価して終わりではなく具体的に改善を図っていく必要があると思います。また、評価も、学年ごとや学部ごとに詳細な分析を行い、それぞれの課題に即した対応も必要だと思います。

各設問については、学校経営方針にそって作成されていると思いますが、教職員で捉え方の違いで視点が変化する設問も散見されます。例えば「確かな学力・生きる力を育む授業の実践」という目標に対しての具体的方法の「主体的・対話的で深い学びを大切にした授業実践」はどういうものなのか等、目標や具体的方法の中身について深めていく必要があると感じます。また、教職員と保護者の設問を同じにすることは 2 者の比較検討が行なえるメリットはありますが、保護者には回答しにくい設問もあると思いますので設問項目の検討が必要かと思います。